

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響			特定健診システムへの連携有無 (○:あり ●は必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)	
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: -帳票の該当項目が空白となる	影響内容: -該当項目が表示されない -帳票・抽出できない	該当機能名/帳票名			影響内容
1	投入異動データ単位	数字	1	異動データの種類の。	0:全件異動被保険者、対象被保険者異動被保険者 1:事由別異動被保険者	—	—	—	—	—	
2	保険者番号	英数	8	保険者を一意に識別する番号。 政令指定都市の場合、市(代表)の保険者番号を設定。	法別2桁(退職でも「67」ではなく「00」とする。) + 都道府県コード2桁(01-47) + 番号3桁 + CD1桁	—	—	—	—	●	
3	投入番号	数字	2	データの投入番号。	保険者が通合会へ、1カ月の間にデータを投入する回数を設定する。 全件異動、対象被保険者異動の場合は「1」と設定し、事由別異動の場合は、1回目を「1」、2回目を「2」とし、回数に応じた連番を設定する。 ただし、再投入(エラー等の不具合が発生し、やり直しデータ)の場合は、1回目を加算せず、その該当する投入番号を設定する。	—	—	—	—	—	
4	データ区分	数字	1	データの資格加入状態を表す区分。	0:加入中 1:喪失中 2:被保険者証番号員番変更前旧データまたは市町村合併発生前旧データ	—	—	—	—	●	
5	レコード区分	数字	1	世帯レコード、個人レコードを識別する区分。	「1」固定	—	—	—	—	●	
6	被保険者証記号	漢字/英数	20	被保険者証の記号を設定する。	保険者の管理体制に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	—	—	—	—	○ (証記号を使用している場合)	
7	被保険者証番号	漢字/英数	20	被保険者証の番号を設定する。	保険者の管理体制に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	—	—	—	—	●	
8	世帯番号	英数	11	保険者内で世帯を一意に識別する番号。世帯番号により世帯を管理している保険者は設定が必要。	世帯番号管理の保険者は必須	—	—	—	—	○	
9	表示用保険者番号	英数	8	出力表示用編集保険者番号を設定する。(政令指定都市対応で使用) 政令指定都市の場合、行政区の保険者番号の設定が必須。	政令指定都市の場合は必須	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①各種帳票(政令指定都市分)作成 ②特定健診用被保険者データ作成	①政令指定都市の場合、行政区用の各種帳票を出力できない。 ②特定健診システムにて行政区番号を取得できないため、被保険者の紐付けが正しく行えない	○	画面上や帳票の印字に使用する。 -政令指定都市の場合、行政区の保険者番号を設定(必須)。 -その他保険者の場合、設定は不要。設定がない場合、「項番2:保険者番号」の値を、画面上や帳票の印字に使用。
10	表示用被保険者証番号	英数	20	出力表示用編集旧被保険者証番号を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●世帯名簿一覧表	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	画面上や帳票の印字に使用する。 -設定がない場合、「項番7:被保険者証番号」の値を、画面上や帳票の印字に使用。
11	市町村合併・旧番号情報 新保険者変更日	日付	7	市町村合併が行われた日を設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
12	市町村合併・旧番号情報 新保険者番号	英数	8	合併後の保険者番号を設定する。		なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①合併市町村対応用の各種帳票作成 ②特定健診用被保険者データ作成	①合併前後の市町村の紐付けができないため、合併対応用の各種帳票の出力(旧保険者での帳票出力)ができない。 ②保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
13	市町村合併・旧番号情報 新被保険者証記号	漢字/英数	20	合併後の被保険者証記号を設定する。	保険者の管理体制に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
14	市町村合併・旧番号情報 新被保険者証番号	漢字/英数	20	合併後の被保険者証番号を設定する。	保険者の管理体制に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
15	市町村合併・旧番号情報 新世帯番号	英数	11	合併後の世帯番号を設定する。		なし	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし		
16	市町村合併・旧番号情報 旧保険者変更日	日付	7	市町村合併が行われた日を設定する。	GYMMDD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①高額療養費償還払支給額計算 ②特定健診用被保険者データ作成	①世帯の多数回情報作成時に旧保険者分の情報が合算されない。 ②保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
17	市町村合併・旧番号情報 旧被保険者番号	英数	8	合併前の保険者番号を設定する。	法別2桁(退職でも「67」ではなく「00」とする。) + 都道府県コード2桁(01-47) + 番号3桁 + CD1桁	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①高額療養費償還払支給額計算 ②合併市町村対応用の各種帳票作成 ③特定健診用被保険者データ作成	①世帯の多数回情報作成時に旧保険者分の情報が合算されない。 ②合併前後の市町村の紐付けができないため、合併対応用の各種帳票の出力(旧保険者での帳票出力)ができない。 ③保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
18	市町村合併・旧番号情報 旧被保険者証記号	漢字	20	個人番号変更、証番号変更又は市町村合併時に旧被保険者証記号を設定する。	保険者の管理体制に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①高額療養費償還払支給額計算 ②特定健診用被保険者データ作成	①世帯の多数回情報作成時に旧保険者分の情報が合算されない。 ②保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
19	市町村合併・旧番号情報 旧被保険者証番号	漢字	20	個人番号変更、証番号変更又は市町村合併時に旧被保険者証番号を設定する。	保険者の管理体制に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①高額療養費償還払支給額計算 ②特定健診用被保険者データ作成	①世帯の多数回情報作成時に旧保険者分の情報が合算されない。 ②保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響			特定補診システムへの連携有無 (○:あり ●:必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)	
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: ・帳票の該当項目が空白となる	影響内容: ・該当項目が表示されない ・検索・抽出できない	該当機能名/帳票名 影響内容			
20	市町村合併・旧番号情報・旧世帯番号	英数	11	旧世帯番号を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
21	市町村合併・旧番号情報・旧番号有効日	日付	7	旧被保険者証番号の有効日を設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①保険者番号、被保険者証番号、被保険者証記号、個人番号が事由により変更された場合、特定健診システムでは当該旧情報より被保険者の紐付けを行うため、未設定の場合、正しく紐付けが行えない。	○	
22	市町村合併・旧番号情報・表示用旧被保険者証番号	英数	20	出力表示用編集旧被保険者証番号を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし	○	
23	直近情報・国保取得届出日	日付	7	国保の資格を取得した異動を届出した日付を年月日で設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者異動台帳出力 被保険者台帳出力 ②被保険者証等一括作成 ③特定健診用被保険者データ作成	①抽出判定ができません。不備のある台帳になる。 ②抽出判定ができません。各種証の作成が正しく行われたい。	●	
24	直近情報・国保取得年月日	日付	7	国保の資格を取得した日付を年月日で設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者証等一括作成 ②高額介護合算自己負担額作成準備処理(国保) ③特定健診用被保険者データ作成	①抽出判定ができません。各種証の作成が正しく行われたい。 ②対象世帯主の国保資格期間が取得できず、自己負担額情報が正しく作成されない。	●	
25	直近情報・国保取得事由	数字	2	国保の資格を取得した事由を設定する。	1転入 2社保離脱 3生保廃止 4出生 5世帯分離 6世帯合併 7転居 8職権回復 9その他1 10月給外 11:市町村合併 13:後期高齢者医療制度離脱 14:月中社保離脱 15:月中国保組合離脱 16:世帯間異動 17~20:予備	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①事由別異動アンマッチリスト出力 ②特定健診用被保険者データ作成	①出力判断が出来ず、不正な帳票となる。	●	
26	直近情報・各県国保取得事由	数字	2	各県にて現状システムで使用する取得事由コードを設定する。	各県で管理している取得事由	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし	○	自県で特有の事由を使用している場合、設定する。 ※自県特有の事由が存在せず、標準システムの事由のみを使用する場合、設定は不要。
27	直近情報・国保喪失届出日	日付	7	国保の資格を喪失した異動を届出した日付を年月日で設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者証等一括作成	①抽出判定ができません。各種証の作成が正しく行われたい。	○	
28	直近情報・国保喪失年月日	日付	7	国保の資格を喪失した日付を年月日で設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者証等一括作成 ②高額介護合算自己負担額作成準備処理(国保)	①抽出判定ができません。各種証の作成が正しく行われたい。 ②対象世帯主の国保資格期間が取得できず、自己負担額情報が正しく作成されない。	○	
29	直近情報・国保喪失事由	数字	2	国保の資格を喪失した事由を設定する。	41:転出 42:社保加入 43:生保開始 44:死亡 45:世帯分離 46:世帯合併 47:転居 48:職権抹消 49:その他1 50:月給外 51:後期高齢者医療制度加入(年齢到達) 52:後期高齢者医療制度加入(障害認定) 53:月中国保加入 54:世帯間異動 55~60:予備	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
30	直近情報・各県国保喪失事由	数字	2	各県にて現状システムで使用する喪失事由コードを設定する。	各県で管理している喪失事由	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし	○	自県で特有の事由を使用している場合、設定する。 ※自県特有の事由が存在せず、標準システムの事由のみを使用する場合、設定は不要。
31	直近情報・変更届出日	日付	7	国保の資格情報を変更した異動を届出した日付を年月日で設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
32	直近情報・変更年月日	日付	7	国保の資格情報を変更した日付を年月日で設定する。	GYMMD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
33	直近情報・変更事由	数字	2	国保の資格情報を変更した事由を設定する。	61:氏名変更 62:住所変更 63:世帯主変更 64:被保険者証記号・番号変更 68:世帯番号変更(証番号個人管理のみ) 70:課税区分変更 71:証番号変更2 74:世帯分離 75:世帯合併 76:世帯間異動 98:得喪の取消 99:抹消	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響			特定補診システムへの連携有無 (○:あり ●:は必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)	
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: ・帳票の該当項目が空白となる 該当帳票名	影響内容: ・該当項目が表示されない ・検索・抽出できない 該当画面名	該当機能名/帳票名 影響内容			
34	最近情報_各県変更事由	数字	2	各県にて現状システムで使用している変更事由コードを設定する。	各県で管理している変更事由	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	自県で特有の事由を使用している場合、設定する。 ※自県特有の事由が存在せず、標準システムの事由のみを使用する場合、設定は不要。
35	基本情報_氏名(カナ)	英数 カナ	100	世帯主カナ氏名を設定する。	世帯主名(カナ)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者一覧 ●退職者医療適用被保険者名簿 ●高額療養費支給申請のおしらせ ●高額療養費支給申請書 ●高額療養費支給(不支給)決定通知書 ●高額療養費支給台帳 ●高額療養費算定過程 ●高額療養費該当一覧 ●高額療養費参考リスト ●高額療養費多数該当一覧 ●高額療養費未突合リスト	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①氏名(カナ)、氏名(漢字)のどちらかが必須	○	
36	基本情報_氏名(漢字)	漢字	50	世帯主漢字氏名を設定する。	世帯主名(漢字)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者一覧 ●退職者医療適用被保険者名簿 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証 ●一部負担金減免等証明書 ●医療費通知書作成対象者一覧 ●医療費通知書 ●高額療養費支給申請のおしらせ ●高額療養費支給申請書 ●高額療養費支給(不支給)決定通知書 ●高額療養費支給台帳 ●高額療養費算定過程 ●高額療養費該当一覧 ●高額療養費参考リスト ●高額療養費多数該当一覧	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①氏名(カナ)、氏名(漢字)のどちらかが必須	○	
37	基本情報_郵便番号(管理用)	英数	8	管理用の世帯主郵便番号を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証 ●高額療養費支給申請のおしらせ ●高額療養費支給(不支給)決定通知書	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①特定健診システムでは当該項目が必須項目であるため、未設定の場合、正しく登録できない。	●	
38	基本情報_実施機関番号(管理用)	数字	3	管理用住所の保険者番号の実施機関番号(5桁目~7桁目)を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし		・国保組合用、他市町村の住所、行政区、地区を検索するために使用。
39	基本情報_住所コード(管理用)	数字	9	管理用の世帯主住所コードを設定する。 ※基本情報_住所(管理用)との同時設定は不可		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証 ●組合特定被保険者入力台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし		
40	基本情報_住所(管理用)	漢字	50	管理用の世帯主住所を設定する。 ※基本情報_住所コード(管理用)との同時設定は不可		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証 ●高額療養費支給申請のおしらせ ●高額療養費支給申請書 ●高額療養費支給(不支給)決定通知書 ●高額療養費参考リスト ●組合特定被保険者入力台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①特定健診システムでは当該項目が必須項目であるため、未設定の場合、正しく登録できない。	●	
41	基本情報_番地(管理用)	漢字	50	管理用の世帯主番地を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証 ●高額療養費支給申請のおしらせ ●高額療養費支給申請書 ●高額療養費支給(不支給)決定通知書 ●高額療養費参考リスト ●組合特定被保険者入力台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	①特定健診システムでは当該項目が必須項目であるため、未設定の場合、正しく登録できない。	○	
42	基本情報_方書(管理用)	漢字	50	管理用の世帯主方書を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●被保険者世帯索引簿 ●世帯名簿一覧表 ●被保険者証 ●資格証明書 ●高齢受給者証 ●限度額適用認定証 ●限度額適用・標準負担額減額認定証 ●標準負担額減額認定証 ●特定疾病療養受療証 ●高額療養費支給申請のおしらせ ●高額療養費支給申請書 ●高額療養費支給(不支給)決定通知書 ●高額療養費参考リスト ●組合特定被保険者入力台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
43	基本情報_電話番号(管理用)	英数	20	管理用の世帯主電話番号を設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳 ●高額療養費支給申請書	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響			特定健診システムへの連携有 (○:あり ●:必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)	
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: ●帳票の該当項目が空白となる	影響内容: ●該当項目が表示されない ●検索・抽出できない	該当機能名/帳票名			影響内容
						該当帳票名	該当画面名				
57	区分等,所得区分(当年)	英数	15	当年の70歳未満の所得区分を月単位に設定する。	年号(1桁) 年(2桁) 月単位(1バイト/1月)の情報を設定(1-12BASE) 0:課税 1:非課税 2:上位所得者	●被保険者異動処理簿 ●被保険者世帯主索引簿	□異動データ詳細(世帯情報)	①所得区分変更データ投入 ②特定健診用被保険者データ作成 ③資格確認 ④高額療養費償還払支給額計算 ⑤高額介護合算支給額計算処理 ⑥高額介護合算世帯情報CSV作成処理	①現在設定されている所得区分が取得できないため、所得区分の更新ができない。 ②特定健診システムでの受診券発行において、細かい条件設定ができる。 ③世帯情報の検索が行えないため、資格確認チェックができない。 ④当該項目値をキーとし、保険者定義マスタに設定された限度額を取得することができないため、支給額の計算ができない。 ⑤基準額を選定できないため、支給額の計算ができない。 ⑥介護システムへ当該項目値を渡さない(null値となる)ため、連携する際、介護システムにて正確な処理が行えない。	○	
58	区分等,所得区分(前年)	英数	15	前年の70歳未満の所得区分を月単位に設定する。	年号(1桁) 年(2桁) 月単位(1バイト/1月)の情報を設定(1-12BASE) 0:課税 1:非課税 2:上位所得者	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①所得区分変更データ投入 ②特定健診用被保険者データ作成 ③資格確認 ④高額療養費償還払支給額計算 ⑤高額介護合算支給額計算処理 ⑥高額介護合算世帯情報CSV作成処理	①現在設定されている所得区分が取得できないため、所得区分の更新ができない。 ②特定健診システムでの受診券発行において、細かい条件設定ができる。 ③世帯情報の検索が行えないため、資格確認チェックができない。 ④当該項目値をキーとし、保険者定義マスタに設定された限度額を取得することができないため、支給額の計算ができない。 ⑤基準額を選定できないため、支給額の計算ができない。 ⑥介護システムへ当該項目値を渡さない(null値となる)ため、連携する際、介護システムにて正確な処理が行えない。	○	
59	区分等,所得区分(前々年)	英数	15	前々年の70歳未満の所得区分を月単位に設定する。	年号(1桁) 年(2桁) 月単位(1バイト/1月)の情報を設定(1-12BASE) 0:課税 1:非課税 2:上位所得者	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①所得区分変更データ投入 ②特定健診用被保険者データ作成 ③資格確認 ④高額療養費償還払支給額計算 ⑤高額介護合算支給額計算処理	①現在設定されている所得区分が取得できないため、所得区分の更新ができない。 ②特定健診システムでの受診券発行において、細かい条件設定ができる。 ③世帯情報の検索が行えないため、資格確認チェックができない。 ④当該項目値をキーとし、保険者定義マスタに設定された限度額を取得することができないため、支給額の計算ができない。 ⑤基準額を選定できないため、支給額の計算ができない。	●	
60	区分等,高齢所得区分(当年)	英数	15	当年の70歳以上75歳未満の所得区分を月単位に設定する。	年号(1桁) 年(2桁) 月単位(1バイト/1月)の情報を設定(1-12BASE) 1:一般 2:一定所得者以上 3:低所得者Ⅱ 4:低所得者Ⅰ 6:一定所得者以上(経過措置) 6:一般(経過措置)	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①所得区分変更データ投入 ②被保険者証等一括作成 ③資格確認 ④高額療養費償還払支給額計算 ⑤高額介護合算支給額計算処理 ⑥高額介護合算世帯情報CSV作成処理 ⑦特定健診用被保険者データ作成	①現在設定されている所得区分が取得できないため、所得区分の更新ができない。 ②高齢受給者証に負担割合を印字出来ない。 ③世帯情報の検索が行えないため、資格確認チェックができない。 ④当該項目値をキーとし、保険者定義マスタに設定された限度額を取得することができないため、支給額の計算ができない。 ⑤基準額を選定できないため、支給額の計算ができない。 ⑥介護システムへ当該項目値を渡さない(null値となる)ため、連携する際、介護システムにて正確な処理が行えない。 ⑦特定健診システムでの受診券発行において、細かい条件設定ができる。	○	
61	区分等,高齢所得区分(前年)	英数	15	前年の70歳以上75歳未満の所得区分を月単位に設定する。	年号(1桁) 年(2桁) 月単位(1バイト/1月)の情報を設定(1-12BASE) 1:一般 2:一定所得者以上 3:低所得者Ⅱ 4:低所得者Ⅰ 6:一定所得者以上(経過措置) 6:一般(経過措置)	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①所得区分変更データ投入 ②被保険者証等一括作成 ③資格確認 ④高額療養費償還払支給額計算 ⑤高額介護合算支給額計算処理 ⑥高額介護合算世帯情報CSV作成処理 ⑦特定健診用被保険者データ作成	①現在設定されている所得区分が取得できないため、所得区分の更新ができない。 ②高齢受給者証に負担割合を印字出来ない。 ③世帯情報の検索が行えないため、資格確認チェックができない。 ④当該項目値をキーとし、保険者定義マスタに設定された限度額を取得することができないため、支給額の計算ができない。 ⑤基準額を選定できないため、支給額の計算ができない。 ⑥介護システムへ当該項目値を渡さない(null値となる)ため、連携する際、介護システムにて正確な処理が行えない。 ⑦特定健診システムでの受診券発行において、細かい条件設定ができる。	○	
62	区分等,高齢所得区分(前々年)	英数	15	前々年の70歳以上75歳未満の所得区分を月単位に設定する。	年号(1桁) 年(2桁) 月単位(1バイト/1月)の情報を設定(1-12BASE) 1:一般 2:一定所得者以上 3:低所得者Ⅱ 4:低所得者Ⅰ 6:一定所得者以上(経過措置) 6:一般(経過措置)	なし	□異動データ詳細(世帯情報)	①所得区分変更データ投入 ②被保険者証等一括作成 ③資格確認 ④高額療養費償還払支給額計算 ⑤高額介護合算支給額計算処理 ⑥高額介護合算世帯情報CSV作成処理 ⑦特定健診用被保険者データ作成	①現在設定されている所得区分が取得できないため、所得区分の更新ができない。 ②高齢受給者証に負担割合を印字出来ない。 ③世帯情報の検索が行えないため、資格確認チェックができない。 ④当該項目値をキーとし、保険者定義マスタに設定された限度額を取得することができないため、支給額の計算ができない。 ⑤基準額を選定できないため、支給額の計算ができない。 ⑥介護システムへ当該項目値を渡さない(null値となる)ため、連携する際、介護システムにて正確な処理が行えない。 ⑦特定健診システムでの受診券発行において、細かい条件設定ができる。	○	
63	区分等,施設入所区分	数字	1	施設入所しているかどうかの区分。	0:非該当 1:施設入所該当 (該当する場合、世帯・個人コードに必要) (被保険者台帳以外は未使用)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
64	区分等,住居地保険者番号	英数	8	国保組合・施設入所・学連の住居地の保険者番号を設定する。	法別(2桁)+ 都道府県(1-2桁)+ 番号(3桁)+ CD(1桁)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	

【KD_IF020】被保険者異動データ(世帯情報)の項目別用途一覧

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響				特定健診システムへの連携有無 (○:あり ●は必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: -帳票の該当項目が空白となる	影響内容: -該当項目が表示されない -検索・抽出できない	該当機能名/帳票名	影響内容		
65	区分等,保険証回収日	日付	7	被保険者証を回収した日を設定する。	GYMMDD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	台帳にて情報管理するためのもの。管理不要であれば、設定は不要。
66	区分等,適用除外承認日	日付	7	適用除外が承認された日を設定する。	GYMMDD形式で設定	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	台帳にて情報管理するためのもの。管理不要であれば、設定は不要。なお、適用除外に係る各種帳票については、当該項目は使用せず、保険者から送付される適用除外者データを基に作成する。
67	区分等,滞納区分	数字	1	滞納世帯かどうかの区分。	1滞納 2滞納(短期証対象) 3滞納(資格証明書対象)	●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者証等一括作成 ②療養費支給申請書作成	①抽出判定ができません。各種証の作成が正しく行われず、 ②一般世帯、退職世帯の判断が行えないため、世帯主情報が正しく表示されない。		
68	区分等,旧世帯主個人番号(員番)	英数	12	旧世帯主の個人番号(員番)を設定する。 (世帯主変更や世帯分離等の事由で世帯主が変更となった場合、変更前の世帯主の個人番号(員番)を設定する。)		なし	なし	なし	なし		
69	統計,世帯コード	数字	10	世帯コードを設定する。 (現行新・共通システムにて使用している、連合会任意で設定するコード)		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①特定健診用被保険者データ作成	なし	○	
70	統計,住所コード	数字	9	住所コードを設定する。 (管理に使用する「項番39:基本情報,住所コード(管理用)」と、統計に使用するコードと異なる場合に設定)		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	なし	なし		設定がある場合、被保険者マスタ更新処理にて、当該コードより「項番71:統計,地区統計用コード」を生成する(事由別異動時のみ)。
71	統計,地区統計用コード	数字	8	統計用コードを設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者到達者リスト出力 被保険者世帯主索引簿出力 世帯主一覧表出力 被保険者一覧出力 退職者医療適用被保険者名簿出力 ②統計情報作成 ③特定健診用被保険者データ作成	①地区別の改ページが行えない。 ②疾病統計分析に係る統計帳票を出力する際、地区別に出力されず、保険者単位での出力となる。 ③特定健診システムでの帳票、ファイル出力等において並び替えが行える。	○	
72	統計,行政区コード	数字	5	行政区コードを設定する。		●被保険者異動台帳 ●被保険者台帳	□異動データ詳細(世帯情報)	①被保険者到達者リスト出力 被保険者世帯主索引簿出力 世帯主一覧表出力 被保険者一覧出力 退職者医療適用被保険者名簿出力 ②特定健診用被保険者データ作成	①行政区別の改ページが行えない。 ②特定健診システムでの帳票、ファイル出力等において並び替えが行える。	○	設定がある場合、被保険者マスタ更新処理にて、当該コードより「項番71:統計,地区統計用コード」を生成する(事由別異動時のみ)。
73	更新処理,当月異動区分	英数	1	当月の異動が発生したかどうかの区分。 全件異動の場合はA、事由別異動の場合はBを設定。	A:全件異動の場合で異動のあるレコード	なし	なし	①被保険者異動台帳出力 被保険者台帳出力 ②被保険者証等一括作成	①当月異動データの抽出が行えない。 ②抽出判定ができません。各種証の作成が正しく行われず、	○	前回送付したデータと異なる場合(異動が発生した場合)にのみ設定する。例えば、全件異動の場合において、加入中及び喪失中で、前月処理に送付したデータと同じ場合(異動がない場合は、「A」の設定は不要)。
74	世帯異動履歴,被保険者証記号	漢字/英数	20	被保険者証の記号を設定する。	保険者の管理体系に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		【世帯異動履歴情報】は、異動が発生した時点の情報を台帳管理するための情報であり、保険者において、国保共通システムを使用した履歴管理を行わない場合、設定は不要。設定がある場合、資格管理業務の「世帯異動履歴」画面にて、履歴情報の管理(検索・修正・削除)が可能となる。
75	世帯異動履歴,被保険者証番号	漢字/英数	20	被保険者証の番号を設定する。	保険者の管理体系に応じて半角または全角にて設定(半角、全角の混在は不可)	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
76	世帯異動履歴,世帯番号	英数	11	保険者の内、世帯を一意に識別する番号。世帯番号管理の保険者のみ設定。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
77	世帯異動履歴,得喪情報,国保取得届出日	日付	7	国保の資格を取得した異動を届出した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
78	世帯異動履歴,得喪情報,国保取得年月日	日付	7	国保の資格を取得した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
79	世帯異動履歴,得喪情報,国保取得事由	数字	2	国保の資格を取得した事由を設定する。	1転入 2社保離脱 3社保廃止 4出生 5世帯分離 6世帯合併 7転居 8職権回復 9その他1 10,月報外 11:市町村合併 13:後期高齢者医療制度離脱 14:月中社保離脱 15:月中国保組合離脱 16:世帯間異動 17~20:予備	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
80	世帯異動履歴,得喪情報,各県国保取得事由	数字	2	各県にて現状システムで使用している取得事由コードを設定する。	各県で管理している取得事由	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響				特定補診システムへの連携有無 (○:あり ●:必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: ・帳票の該当項目が空白となる 該当帳票名	影響内容: ・該当項目が表示されない ・検索・抽出できない 該当画面名	該当機能名/帳票名	影響内容		
81	世帯異動履歴 得喪情報 国保喪失届出日	日付	7	国保の資格を喪失した異動を届出した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
82	世帯異動履歴 得喪情報 国保喪失年月日	日付	7	国保の資格を喪失した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
83	世帯異動履歴 得喪情報 国保喪失事由	数字	2	国保の資格を喪失した事由を設定する。	41:転出 42:社保加入 43:生保開始 44:死亡 45:世帯分離 46:世帯合併 47:転居 48:職権抹消 49:その他1 50:報外 51:後期高齢者医療制度加入(年齢到達) 52:後期高齢者医療制度加入(障害認定) 53:月中国保加入 54:世帯間異動 55~60:予備	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
84	世帯異動履歴 得喪情報 各県国保喪失事由	数字	2	各県にて現状システムで使用している喪失事由コードを設定する。	各県で管理している喪失事由	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
85	世帯異動履歴 得喪情報 変更届出日	日付	7	国保の資格情報を変更した異動を届出した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
86	世帯異動履歴 得喪情報 変更年月日	日付	7	国保の資格情報を変更した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
87	世帯異動履歴 得喪情報 変更事由	数字	2	国保の資格情報を変更した事由を設定する。	61:氏名変更 62:住所変更 63:世帯主変更 64:嘱託保険者証番号・番号変更 68:世帯番号変更(証番号個人管理のみ) 70:課税区分変更 71:証番号変更2 74:世帯分離 75:世帯合併 76:世帯間異動 98:得喪の取消 99:抹消	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
88	世帯異動履歴 得喪情報 各県変更事由	数字	2	各県にて現状システムで使用している変更事由コードを設定する。	各県で管理している変更事由	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
89	世帯異動履歴 基本情報 氏名(カナ)	英数	100	世帯主カナ氏名を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
90	世帯異動履歴 基本情報 氏名(漢字)	英数カナ	50	世帯主漢字氏名を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
91	世帯異動履歴 基本情報 郵便番号(管理用)	英数	8	管理用の郵便番号を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
92	世帯異動履歴 基本情報 実施機関番号(管理用)	数字	3	管理用住所の住居地保険者番号の実施機関番号(5桁目~7桁目)を設定する。 ※国保組合・施設入所・学連は必要		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
93	世帯異動履歴 基本情報 住所コード(管理用)	数字	9	管理用の住所コードを設定する。 ※世帯異動履歴 基本情報 住所(管理用)との同時設定は不可		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
94	世帯異動履歴 基本情報 住所(管理用)	漢字	50	管理用の住所を設定する。 ※世帯異動履歴 基本情報 住所コード(管理用)との同時設定は不可		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
95	世帯異動履歴 基本情報 番地(管理用)	漢字	50	管理用の番地を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
96	世帯異動履歴 基本情報 方書(管理用)	漢字	50	管理用の方書を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
97	世帯異動履歴 基本情報 電話番号(管理用)	英数	20	管理用の電話番号を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
98	世帯異動履歴 基本情報 郵便番号(発送用)	英数	8	発送用の郵便番号を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
99	世帯異動履歴 基本情報 実施機関番号(発送用)	数字	3	発送用住所の住居地保険者番号の実施機関番号(5桁目~7桁目)を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
100	世帯異動履歴 基本情報 住所コード(発送用)	数字	9	発送用の住所コードを設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
101	世帯異動履歴 基本情報 住所(発送用)	漢字	50	発送用の住所を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		

項番	論理項目名	論理データ型	桁数	説明	コードの内容	未設定時の影響				特定補診システムへの連携有無 (○:あり ●:必須)	補足 (使用用途や設定メリット等)
						【帳票への影響】	【画面への影響】	【機能等への影響】			
						影響内容: ・帳票の該当項目が空白となる	影響内容: ・該当項目が表示されない ・検索・抽出できない	該当機能名/帳票名			
						該当帳票名	該当画面名	影響内容			
102	世帯異動履歴_基本情報_番地(発送用)	漢字	50	発送用の番地を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
103	世帯異動履歴_基本情報_方書(発送用)	漢字	50	発送用の方書を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
104	世帯異動履歴_基本情報_電話番号(発送用)	英数	20	発送用の電話番号を設定する。		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
105	世帯異動履歴_区分等_世帯主区分	数字	1	世帯主が擬制世帯主かどうかの区分。	1:普通世帯主 2:擬制世帯主	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
106	世帯異動履歴_ID世帯主個人番号(員番)	英数	12	旧世帯主の個人番号(員番)を設定する。 (世帯主変更や世帯分離等の事由で世帯主が変更となった場合、変更前の世帯主の個人番号(員番)を設定する。)		なし	□世帯異動履歴	なし	なし		将来的に、高額介護合算業務(計算期間の途中で世帯主が変更となった場合、変更前の世帯主情報を取得)にて使用することを考えているが、現時点では未使用。
107	世帯異動履歴_異動届出日	日付	7	国保の資格情報の異動(取得、喪失、変更)を届出た日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
108	世帯異動履歴_異動年月日	日付	7	国保の資格情報を異動(取得、喪失、変更)した日付を年月日で設定する。	GYMMDD形式で設定	なし	□世帯異動履歴	なし	なし		
109	世帯異動履歴終了識別子	英数	2	世帯異動履歴(項番74~108)の終了識別子。 ※世帯異動履歴の最終履歴の次の項目として"E1"を設定すること。	E1	なし	なし	①異動データ精査	①異動データを取り込めず、エラーとなる。		